

平成31年度事業計画

社会福祉法人あおい会

I 法人本部

1 基本方針

(1) 経営理念

人が生き生きと楽しい生活を送るお手伝いをする。

(2) 行動指針

経営理念に沿った業務の遂行をして、社会に貢献するとともに、自己を高める。

(3) 行動原則

- ① 福祉事業に携わっているという自覚（使命感や誇り）
- ② 利用者一人ひとりにとっての「生き生きとした楽しい生活」の創意や見極め。
- ③ ①と②を日々フラッシュアップしていく姿勢（向上心や行動力）

(4) 従業員の資格

(1) ～ (3) に賛同・従事できること。

(5)

- 1 太陽の丘の建て替え
- 2 利用者満足度調査実施
- 3 管理者会議の実施（月1回）
- 4 あおい学園ブロック塀改修工事

平成31年度事業計画書(案)

あおい学園

<事業方針>

平成30年度の園児30名のうち12名が3月に卒園、4月に12名が入園予定であり、31年度新学期は定員の30名でスタートします。

発達の遅れやとまどいのある就学前の幼児一人ひとりが、より豊かな社会生活をおくれるよう、保護者との連携を常に密にしながら、未発達の諸機能の発達促進を図って参ります。

更に、教職員も「共に育つ」という意識で研鑽に努め、支援体制の充実に繋げて参ります。

また、本年度は、園敷地を囲むコンクリートブロック塀が老朽化しているため、国・県の補助を受け、解体撤去し、新たにスチール製フェンスの設置工事を実施致します。

<主な月間行事>

4月	入園式 保護者会総会
5月	親子遠足 家庭訪問 保護者会の母親教室 園児健診(耳鼻科)
6月	園児健診(内科・歯科・眼科) 母親教室(支援学校見学)
7月	七夕 プール遊び 母親教室(支援学校見学) あおいの夏まつり
8月	夏休み 職員検診 就学相談
9月	クラス参観 母親教室 個人懇談会
10月	運動会 母親教室
11月	親子遠足 母親教室 園児健診(内科)
12月	クリスマス会 母親教室
1月	親子制作
2月	節分 クラス参観 父親日曜参観 母親教室
3月	ひなまつり お別れ親子遠足 母親教室 個人懇談会 新入児一日体験入園 卒園式

<毎月>・・・身体測定・避難訓練・園外支援・誕生会
・作業療法士(園児の運動機能等促進)
・音楽療法士(園児のリズム機能等促進)
・ボランティア(高松地域の絵本読み聞かせの会「もこもこ」)

<整備>・・・消防用設備点検(年2回)

平成31年度事業計画書(案)

社会福法人あおい会 あさも園

社会福祉法人あおい会の経営理念に則り利用者さんの権利擁護を推進し、質の高い専門的支援の提供に努めます。自立と社会参加の促進を目指し、利用者さんが生き生きと楽しい生活が送れるよう個々に応じた日中活動の提供と、地域社会と一体となった取り組みを積極的に展開していきます。そのために、利用者さんの意思決定に配慮した支援や様々な地域貢献を通じて共生社会の実現に寄与できる信頼される施設運営を推進していきます。

【事業の内容】

◇生活介護事業 (利用者数 32名)

「毎日、楽しく通える施設を目指しています」

利用者さんの日常生活の自立に必要な支援(食事・排泄・整容・着脱衣等)の提供、また創作活動(お花・フラダンス・太鼓・軽運動・手話ソング・音楽鑑賞・創作・ビデオ鑑賞・カラオケ・調理実習等)や生産活動(スポンジの袋詰め作業等)の機会を提供し、豊かな生活が送れるよう支援していきます。

◇就労継続支援 B 型事業 (利用者数 25名)

「働く喜びが実感できるよう支援する」

生産活動の機会を提供し、生産する喜び、働くことへの自信や自主性を引き出し、さらにその力を伸ばし、自立と社会参加を推進していきます。

やりがいを感じながら生産活動(クッキー製造作業・スポンジの袋詰め作業)を提供し、就労意欲の向上に努め、作業に自信と誇りが持てるよう支援していきます。

また営業活動の強化・作業効率の向上に努め、工賃の引き上げを図っていきます。

【健康管理】

利用者さん・職員の健康管理を図るため健康診断及び感染症予防対策を実施します。嘱託医との連携を密にし、健康維持・増進を図っていきます。

- ・嘱託医による定期健康診断(2回/年)
- ・看護師による健康管理、身体測定等

【人権擁護・虐待防止対策】

利用者さんの人権を尊重し権利擁護の視点に立ってサービスを提供していきます。また虐待となる不適切な言動・心を傷つけるもの・犯罪行為となるものまで、常に利用者さんの立場に立って身体的・心理的苦痛等を感じることがないように努めます。そのためには職員一人ひとりの意識や知識の向上が不可欠であり、計画的に職員研修を実施するとともに職員会議での議論・検討を重ねていきます。

人権擁護推進・虐待防止委員会を中心に、管理体制・記録・通報システムの一層の強化を図っていきます。

【非常災害対策と安全確保】

毎月消防訓練・避難訓練を実施し、通報・消火・避難誘導の充実を図り、利用者さんの安全確保に努めます。

安全管理対策委員会を中心に、避難経路待機場所の考察また備蓄や災害対策品等について都度見直し、大規模災害に備えます。

【職員の資質の向上】

福祉施設の職員としての倫理の醸成、また専門的な知識・技術の向上を図るため各種研修会への参加及びその伝達研修や施設内研修を充実させ、優秀な人材の育成に努めます。

【年間行事等予定】

4月	5日(金)	お花見(大池荘/紀の川市貴志川町)
5月	8日(火)	保護者会総会
	24日(金)	春季遠足(ハーベストの丘・ららぽーと和泉)
6月		内科検診
6月～9月		水泳・カラオケBOX・公園散策等(希望グループ別)
9月		内科検診
10月		運動会
11月	1日(金)	日帰りバス旅行(明石海峡大橋・神戸どうぶつ王国)
	17日(日)	和歌山県ゆうあいスポーツフェスタ
		内科検診
12月		クリスマス会
1月		えびす詣で
誕生日会		月1回

平成31年度太陽の丘事業計画書

(1) 施設の概要

所在地 和歌山県海南市上谷777-1

- ② 利用定員 生活介護：87名 短期入所(空床型)：6名
施設入所支援：70名
グループホームふあんふあん：8名
グループホームかつらぎ荘：4名

③ 居室構成 一人部屋(8) 二人部屋(7) 四人部屋(14) 計29室

(2) 運営方針

社会福祉法人あおい会の経営理念に則り、「利用者さんの生命・諸権利を保障」し、なおかつ一人一人の個性を尊重した利用者さんが安心・安全に生き生きと楽しい生活が送れる高品質で多様なサービスを提供し、施設らしさを感じさせない家庭的なサービス提供を基本とします。

(3) 生活支援

- ① 「生活の場」としての衣食住の環境の充実を図ると共に、利用者さんの高齢化を念頭に置き、安全安心に生活できる場の提供を行えるように取り組む。
- ② 日常生活に必要な基本的習慣の自立を目的に、身辺処理・清掃活動に取り組み、更に毎日の積み重ねによって社会的適応性を育成し、地域生活への移行を念頭においた支援に取り組む。

(4) 日中活動

〔花係〕

- ① 空き缶及び古紙リサイクル作業・園内緑化活動・レクリエーション等を通じ、個々が役割をもって活動に取り組み、各自にやりがい・生きがいを持ってもらう。
- ② 係に所属するもの全員で、何事にも協力して取り組むことを意識してチームワーク・協調性を育む。
- ③ 活動を通じ生活全般の潤いになるよう役割を持つことで、達成感・充実感を持てるような支援を提供する。

〔鳥係〕

- ① 活動内容は体操・紙芝居等のレクリエーション活動を中心に行い、個々に発揮出来ることを意欲的に取り組んでもらえるよう支援する。
- ② リフレッシュのため、レクリエーション及び外出の機会を提供する。レクリエーションの内容も公共施設等を利用し、音楽・DVD鑑賞を提供する。
- ③ リラクゼーションを取り入れ、ダンス・マッサージ等も実施し健康維持・リフレッシュにつながるものを提供する。

〔宙係〕

① 所属の利用者さんの高齢化、重度の障害を持たれている。重視すべきは生活的なもの、体力的なもの、感覚的なものがある。

利用者さんにとって施設というものは生活の場であるが、それに加えレクリエーショナルな要素のものを提供する。ふだんの生活は違う状況を作り出し、良い刺激になるような支援を提供する。

〔海係〕

① 所属の利用者さんの高齢化、障害を持たれている。生活的なもの、体力的なもの、感覚的なものを重視する。

利用者さんにとって施設というものは生活の場であり、生活にそったものを提供する。

(5) 実習・就労に向けての支援

① 個々の希望・適性を考慮し、意欲とスキルを高めて就労につながる支援に取り組む。

② 職場の人間関係及び基盤となる生活面等、就労に関わると考えられる事柄を相対的に支援する。

③ もなみや就職サポートセンター、インターネット等を利用し情報を収集し共有する。またグループホームの担当者とも連携を取りながら、実習に向けて進めていく。

(6) 余暇活動支援

① 余暇活動を通し、利用者さんの趣味・興味のある内容を提供し、意義のある時間を過ごすことによって生き生きと楽しい生活が送れるように取り組む。

② 季節・時候に応じたものを計画し、季節を肌で感じ情緒を育てていくと共に共通の趣味を通じて楽しむ中でコミュニケーションを図れるようにする。

③ 地域の行事(餅まき等)に参加し、地域社会の一員として交流を深められるように取り組む。

④ 実施予定／プロ野球観戦(阪神戦)・NGK

公園散策・コンサート等利用者さんの希望を取り入れ、出来るだけ多くの方の希望が叶えられるように取り組む。

(7) 買物外出・パーソナルプランについて

① 近隣に商店等がないことから月平均7回程度、1グループ4名ほどで買物外出に出かけます。衣類や雑誌・趣味のものを購入しレストラン等で外食を楽しみますが、一人一人の個性を尊重して個々が選んで購入したり食事を摂れるよう取り組む。

② パーソナルプラン／直訳すると個人の計画ということ、個々の趣味に応じた外出の機会を提供し生きがいや楽しみを提供する。

(映画鑑賞・遊園地・温泉・保護者面会・カラオケBOX等)

※ 前年度一人あたり年4回程度外出しています。

(8) 看護係

- ① 利用者さん及び職員の健康維持増進を図る。
- ② 日々の健康管理により利用者さんの健康をサポートし、早期の対応・処置に努め予防策の強化に取り組む。
- ③ 実施予定/検温(3回/日)・通院・検便(1回/月:対象者)
血液検査(1回/年)・がん検診(乳がん・子宮がん)
歯科健診(1回/年)・集団検診(胸部X線・検尿 2回/年)
インフルエンザ予防接種(1回/年)・理美容(1回/月)等

(9) 苦情解決委員会

- ① 「福祉サービスにおける苦情解決要綱」に基づく対応
苦情を受けての迅速・適切な対応により、利用者さんの満足感・安心感を高めることや利用者さん個人の権利を擁護する。
- ② 苦情が密室化せず社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めることにより、太陽の丘への信頼や適正性の確保を図る。
- ③ 職員が些細な問題であると感じる事案においても聞き流すことがないよう、どのような苦情内容においても対応することを大原則とする。

(10) 行き過ぎた支援(虐待防止)研修の実施。

- ① 年3~4回虐待防止、権利擁護研修を実施する。
- ② 虐待を早期に発見し根絶するために職員同士のチェックを促進する。委員会(主任、課長にて構成)を設置し、特にグレーゾーンの(当事者が虐待とは感じないが客観的に見て疑いを感じる)事案や支援等に問題が有る場合は、委員会に口頭や報告書での報告があり、それを協議することによって虐待防止の対応・対策及び改善を図るものとする。
- ③ 併せて人権に配慮された好ましい対応等があった際にも指摘することによって、他の職員にも好ましい対応が広まるということもある。

(11) 年間行事

- ① 地域の方々と交流することで、太陽の丘への関心・理解を深めて貰う行事の開催。
- ② 家族の方々楽しいひと時を過ごし、交流を深め家族のきずなを確認する。
- ③ 利用者さん個々の意見を最大限に尊重した、行事の開催に取り組む。
- ④ 泊旅行・日帰りバス旅行は、希望・体力に応じ参加できるようにする。
- ⑤ 平成31年度行事計画(別紙参照)

(12) 食生活

- ① 栄養面だけではなく雰囲気・献立・盛り付け・食器・食事マナーなどに配慮し、月に数回メニューを複数用意し食事選択の自由も尊重する。
- ② 平日の昼食時、利用者さんを4つのグループに分けて出来立ての副食を温かいうちに味わってもらえるようにしている。食事席も自由で、居室等で摂るのも可としている。
- ③ 常にご飯は本人の目の前でよそようにして、その日の副食や空腹の加減で量を調整したり、お代わりも可とする食事提供をする。
- ④ 給食会議を設け嗜好調査(1回/年)を実施し、食事の形態に関わる協議を行い、豊かで潤いのある食事の向上に取り組む。

(13) 防災管理体制

- ① 太陽の丘防災計画に則り各種訓練を実施し、利用者さん・職員の火災・自然災害に対する意識向上をめざし防災対策の充実強化に取り組む。
訓練内容/避難訓練(1回/月)・夜間避難訓練(1回/年)
防犯訓練(1回/年)
総合防災訓練(1回/年：海南省消防署員指導)
普通救命講習(1回/年：海南省消防署員指導)
- ② 防災設備器具の、維持点検。(2回/年)

(14) 短期入所事業

- ① 短期入所利用者さんが、心穏やかに過ごすことが出来る支援に取り組む。
- ② 日中活動は利用者さんの希望や利用目的に応じて、参加の提案をする。
- ③ 休日を穏やかに楽しく過ごすことの出来る様、余暇活動の提供・環境づくりに取り組む。
- ④ 心安らげる生活環境(居室・食事・入浴等)作りに努める。
- ⑤ 必要に応じて体調面への配慮。
- ⑥ 緊急で利用が必要になった時に、すぐに相談対応・利用出来る体制づくりに取り組む。

(15) 実習生・ボランティア受け入れ

- ① 高校・大学・専門学校等より実習生の受け入れを行い、支援に対する知識・技術やノウハウを提供すると共に知的障害及び福祉施設に対する理解促進に取り組む。
- ② 単調になりがちな施設生活の中で、実習生・ボランティアを受け入れることで社会の風に触れる一助となりリフレッシュにつながる。
- ③ 実習生・ボランティアには利用者さんの人権・プライバシーを守り、あおい会個人情報保護規定に基づいた対応をするよう取り組む。

療育センターAOI 平成31年度事業計画(案)

<もなみ・リアン・エトワル・療育センターAOI・相談支援体制整備事業>

あおい会の基本方針、法令遵守を徹底し、『利用者、保護者の方が、「安心して利用したい」と思ってもらえる事業所』になるよう、一人一人の思いにしっかり耳を傾け、利用者さんの体調、健康状態に配慮し、個別支援計画に沿って充実した活動を提供できるよう努めます。

内部、外部研修を積極的に取り入れ専門スキルを高めるとともに、自立支援協議会への参加や相談支援事業所など、各関係機関との連携を図り、地域の福祉向上に貢献していきます。

もなみ 生活介護事業

定員15名、契約者数21名、平均利用者数17.9人/日、平均障害区分4.81

職員体制/生活支援員4名、看護師1名(リアンと兼務)

重度の利用者さん(区分 5,6 該当利用者)の割合が66%と高いこともあり、利用者さん同士の距離の確保、車椅子使用の方の利用、作業場も就労と併用等々、建物のスペース的に、これ以上の定員増は難しく、新しい利用者の受け入れは希望者がありながらお断りさせて頂いている状況です。

来年度の取り組みについては表1の支援方針に基づき、利用者さん一人一人の特性やその日の体調に合わせて就労活動(ブラシ加工)、体力の維持向上を目指したウォーキングや軽運動、気分転換のためドライブやカラオケ、また年間を通して季節感あふれる行事等(主な活動内容は下記表、また年間行事については別紙年間行事計画表をご覧ください)を提供し、もなみに行くことを楽しみにして頂けるよう取り組みます。

また、保護者が高齢となってきた利用者さんもあり、将来における不安等に対し相談員とも緊密に連携し、もなみにて家族さんとしてしっかりコミュニケーションをとるなど、できる限りの支援をしていきたいと考えています。

①日中活動を通して利用者さんが楽しんで頂けるように支援を充実させる		
②利用者さんが見通しを立てやすいように支援し 楽しめる活動を提供していく		
③広い視野を持ち利用者さんの細かな変化に気を付けながら支援する		
④利用者さんの体調や気持ちに応じて無理のない範囲で作業を提供する		
⑤利用者さんに気持ち良く過ごしてもらえるよう 施設内の環境を整える		
活動名(実施日時)	取り組み内容	成果・課題等
軽運動 (通年)	ウォーキング、軽運動 等	運動機能の維持
ブラシ作業(通年)	ブラシの袋詰め	集中力や手先の機能を高める
音楽活動 (週一)	歌や楽器に親しむ	情緒の安定や気分転換
外出活動 (週二)	ドライブ、買物他	気分転換を図り外出を楽しむ
クッキング (各月)	手作りおやつを作る	作ったものを食べる楽しみを知る
個別活動 (通年)	自転車、ウォーキング、パズル 他	一人一人の好みや特性に合わせて活動を行う
課外活動 (通年)	花見 紅葉狩り 初詣 夕食 BBQ プール	季節感を味わい 気分をリフレッシュする
その他	体重測定(月1回)	バイタル測定(毎日)

リアン生活介護事業(主に重症心身障害者の方に利用して頂けるもなみの従たる事業所事業所)

定員6名、契約利用者10名 職員体制/看護師2名、生活支援員1名。

4月より支援学校を新しく卒業の1名が増え、11名の方の利用となります。

31年度の取り組みについては表2の支援方針に基づき、利用者さんで、医療的ケア、食事等、細心の配慮をしながら、スヌーズレンの理念を参考にした活動や、散歩、創作活動等で、楽しく安心して過ごして頂き、笑顔がたくさん頂けるよう取り組みます。また年間行事についてもいろいろな体験をして頂けるよう、取り組みます。

平成31年度リアン(生活介護事業)支援方針		表2
①個別支援計画に基づき、利用者さんに合ったサービスの提供を心掛ける		
②日中活動を通して、利用者さんが楽しんで頂けるように支援を充実させる		
③広い視野を持ち、利用者さんの細かな変化に気づけるように支援する		
④心身の健康を管理するとともに異常がある場合は適切に対応する		
⑤職員の意識改革によって日々改善を進める		
活動名 (実施日時)	取り組み内容	成果・課題等
感覚刺激(毎日)	散歩・足浴・アタッチメントセラピー・スヌーズレン・エアトラ	五感の刺激による体幹機能維持
訓練(月2回)	PTによる月2回の個別訓練	体幹機能の維持
音楽活動(毎日)	歌や楽器に親しむ・ペープサート	情緒の安定や気分転換
制作活動(月1回)	壁面制作	制作を通して自己表現を出来るようにする
クッキング(月1回)	手作りおやつを作る	作ったものを食べる楽しみを知る
個別活動(月1回)	ボール・ウォーキング・装具をつけての活動等	一人一人の好みや特性に合わせて活動を行う
課外活動(月1回)	ショッピング・外食・施設見学他	社会参加して楽しんでもらう
年間行事(各年1回)	焼き芋・クリスマス会・花見・運動会・初詣	季節感を感じ楽しんでもらう
その他	嘱託医定期診察(7月・1月) PT訓練(毎月第1金曜日・第3水曜日) 療訪問(毎月第3木曜日と奇数月第1金曜日) 体重測定(毎月1回) 音楽レクリエーション(毎月1回) 誕生会(利用者さんの誕生日) お楽しみランチ(年2回) 外食(年1回)	

もなみ就労継続支援B型事業

定員10名、現在14名の方と契約、平均利用者数は9.6人。3月より支援学校を新しく卒業の1名が増える予定。あと2~3人の方に利用して頂けるよう、実習の受け入れ等を進めて参ります。

当事業所は比較的障害の重い方が利用して下さっているのですが、『働きたい』、『みんなと楽しく仕事をしたい』という思いに応えられるよう、表3の支援方針に基づき、地域のイベントにも積極的に参加し自主製品(焼き菓子・手芸品)の販売、また雑貨事業(山本ブラシ受託作業)を利用者、職員が協力し合って工賃アップに繋げ、一般就労やA型事業所等ステップアップを希望される利用者さんには状況に応じて見学や実習を通し夢の実現に向けて一緒に取り組んでいきます。

また、仕事以外の面においても、随時相談に応じ、季節行事や外食にて交流を図り気分転換やコミュニケーションをしっかりとっていきます。

また、和歌山県障害者のスポーツ大会へも積極的に参加し皆でスポーツする楽しさを知って頂けるようにします。(別紙年間行事計画表参照)

平成31年度もなみ(就労継続支援B型事業)支援方針		表3
①利用者様に楽しく作業に取り組んでもらえるような関わりを持つ		
②作業環境の最適化に努める		
③利用者様のニーズに即した作業・活動の提案を行う		
④クッキー販売に関しての広報活動を行う		
⑤拡販も考慮し、クッキーの需要を満たせる生産計画を利用者様に提案する		
活動名(施日時)	取り組み内容	(成果・課題等)
クッキー作り(毎日)	クッキー攪拌、形成、パッケージング	通常作業・安定した商品作り、衛生面を意識する
ブラシ作業(毎日)	ブラシの袋詰め(主として大袋詰め)	集中して取り組んでもらえる環境設定に配慮する
ハンドメイド作業(毎日)	クロスステッチでの小物作り(ヘアゴム等)、つまみ細工	作品作りを一緒に考える、利用者本人の目標を考慮する
親睦交流会(1回/2ヶ月)	各所での外食(毎回希望場所をアンケート)、映画鑑賞(外食が困難な方へ)	作業の気分転換・利用者様間の親睦を深めてもらう
出張販売(年間2～5回程度)	行事・イベントなどで販売員として参加する	接客を通じて利用者様の社会性構築を支援する
課外活動(年間2～5回程度)	初詣、花見、他事業との合同行事など	作業の気分転換・季節行事を楽しんでもらう

エトワル(児童発達支援・放課後等デイサービス)

定員10名。11名の登録者で、一人ひとりの適性に合った個別支援計画に基づき、楽しく過ごして頂く中、療育面からも支援していけるよう活動しています。

営業時間/平日9:00～17:00(学校が長期休暇などの休校日は、9:30～15:30)
 地域で暮らしている障害児の放課後及び長期休暇中の活動の場所として実施していき、安全をより一層配慮しつつ、保護者へのアンケート、自己評価を踏まえ、充実した活動の場所となるように努めていきます。また、児童の状態をしっかりと把握するため、学校を訪問し、情報交換する等、連携を図り支援計画に反映します。
 更に今後の事業形態として、今年度同様、就学している児童だけでなく、就学直前の児童(小学校入学前の春休みなど)についても受け入れていきます。

平成31年度エトワル支援方針		表4
①安心して気持ちよく過ごして頂ける環境を作る		
②友達と過ごすことの心地よさや楽しさを味わえるよう集団活動を充実させる		
③児童の発達に合わせた個別支援を行う		
④体調に配慮しながら児童のペースに合わせた活動を提供する		
⑤児童一人一人の意思表明・意思決定を支援し、児童の思いを反映させた活動プログラムを考えて提供する		
⑥学校訪問を行い、連携を取りながら支援方法、内容等を共有していく		
活動名(実施日時)	取り組み内容	成果・課題等
散歩・外遊び(通年)	施設周辺のウォーキング、玩具での自由遊び等	季節感を味わう・体力向上・集団活動経験する
屋内活動(通年)	ボール遊び・絵画・ブロック・絵本・エアトラ・楽器・サーキット等	好きな遊びを通じ友達とのかかわりを学ぶ
クッキング(春休み・夏休み・冬休み)	手作りおやつを作る	クッキングに興味を持ち、自分で作って食べる楽しさを感じる
課外活動(通年)	外食・買物・初詣・自然博物館など	社会との交流機会を持つ
制作活動(通年)	絵画・年賀状等個人制作	自己を表現する・出来たという達成感を味わう・色んな素材に触れる経験をする
防災・防犯・避難訓練	津波、地震、土砂災害、不審者侵入を想定して行う	避難場所、避難方法、避難経路を周知する
プール(夏休み)	庭園プール、子ども・女性・障害者相談センターの室内プール	水の感覚を楽しむ・体が浮く感覚を楽しむ

療育センターAOI(特定相談支援・障害児相談支援・一般相談支援)

利用者さんに安心して相談していただけるように対応していく。

- ・特定相談支援事業(計画相談支援・基本相談支援)
- ・障害児相談支援事業(障害児支援利用援助)
- ・一般相談支援事業(地域移行支援・地域定着支援)
- ・在宅リハビリテーション推進強化事業<(旧)障害児(者)地域療育等支援事業>

海南市と紀美野町から委託を受け(今年度から専従での委託相談員を置かなければならない)、委託相談支援事業所として実施していき、毎月1回海南市と紀美野町それぞれに定期相談日を設け地域の障害者(児)の相談を受けていき、随時相談依頼があり次第対応していきます。

また、海南・海草障害者自立支援協議会の運営も今年度から設置される、基幹相談支援センター、他委託事業所と協働して行きたいと思います。

今年度も、新規登録者や新規の計画相談が増えていくことが予想され、また制度改正にて、計画(モニタリング回数)について今年度から順次増えていく予定のため、人員配置も検討し、それに合わせ事業体制も考えていきたいと思っています。

相談体制整備事業(アドバイザー)

委託相談支援事業所や各機関と連携を図り対応していきます。

和歌山県自立支援協議会で各圏域の地域課題などの検討を行っていきます。

療育センター-AOI 平成31年度年間行事計画 (案)

月	各事業年間行事			その他(全体)
	生活介護	就労継続支援B型	リアン	
4月	エトワフル クッキング お花見	お花見 太陽の丘祭り販売	お花見 保護者総会 ピクニック	避難訓練
5月	クッキング	合同中庭バーベキュー 海南医療センター売店販売		避難訓練
6月	クッキング	お楽しみランチ 外食	ショッピング	防災訓練
7月	プール クッキング	障がい者スポーツ大会 海南医療センター売店販売	プール 七夕	研修会 避難訓練 嘱託Dr. 診察
8月	プール クッキング	おやつカフェ プール	プール	避難訓練
9月	クッキング	外食 ふれあい福祉フェスティバル販売 海南医療センター売店販売	お月見 運動会	避難訓練 避難訓練
10月	クッキング	外食 合同カレパティー		避難訓練
11月	クッキング	ちみじ狩り ゆづあいスポーツフェスタ(17日)	ピクニック	
12月	外食 クッキング	クリスマス会 忘年会〈外食〉	クリスマス会	防災訓練 法人研修会
1月	初詣 クッキング	初詣 お楽しみランチ 海南医療センター売店販売	初詣	避難訓練 嘱託Dr. 診察
2月	クッキング 節分	おやつカフェ 外食	節分	避難訓練 職員会議
3月	ひな祭り クッキング	外食 海南医療センター売店販売	ひな祭り	避難訓練